

リフォーム前

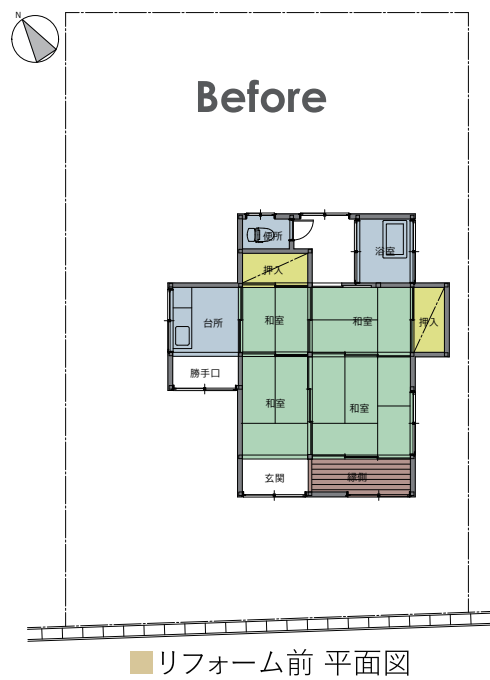


■外観(リフォーム前)
構造体残して内外装材をすべて撤去。取り外したアルミサッシや構造材は再利用して工事費を压さえた計画。

薩摩半島最南端のまち、指宿市の唐船峡近くに計画建物はあります。築約60年の木造平屋で空き家となってから15年ほど経ち、建物所有者は県外にいたため年に一度管理で戻ってくる状況でした。その所有者から地元の会社経営者に「この建物を引き取ってくれないか」との打診があり、地域のために何かできないかという思いもあり、賃貸住宅へリフォームして地域活性化・過疎化防止に役立てることを目的として、この空き家を引き取ることになり、本建物のリフォームプロジェクトがスタートしました。内部の構造体はほとんど傷んでいませんでしたが、田の字型の間取りと約14.8坪の広さでは生活に十分な空間が確保できないこともあり、改修費用を压さえつつも内装・外装ともに大胆なリフォームを計画しました。リフォーム後の間取りは小さい子を持つ若い夫婦を想定した17.5坪の1LDK+予備室のコンパクトなプラン。結果として工事期間に未就学児が一人いる若い夫婦の入居が決まり、この地域で新しい生活が始まっています。現所有者が思い描いた空き家の再生、そして地域活性化、過疎化防止につながる想いがカタチになりました。



■改修工事の状況
建物の傾きや歪みを調整した後、解体した構造材に大工が墨付けを行い手刻みによる屋根架構の変更や増築を行った。



リフォーム後



■勾配天井のリビング・ダイニングは柱・梁の構造美を楽しむことができる。



■コンパクトでシンプルな玄関



■使いやすい対面式キッチン



■予備室の上には多目的なロフト



■7.0畳の寝室

Re:Neue 「リノイエ」とは「リノベーションした家」という意味だけではなく、
Re(英)・・・再び + Neue(独)・・・新しい
Re:Neue(リノイエ)とは「再び新しい命を宿した家」という意味を込めた造語です。

既存の入母屋の屋根形状を大胆に改修して元の建物の面影を感じさせないモダンな外観デザイン。室内は既存の柱、差鴨居、小屋束を現しとし、空間を広く見せるだけでなく、伝統的な木造工法の構造美と木の質感や暖かみを感じられる空間としています。水廻りを集約した動線計画、筋交・金物での構造補強、断熱材の充填をしっかりと行き安心して快適に過ごせる賃貸住宅として空き家に再び新しい命が宿りました。



■リフォーム後のファサード



■アプローチ



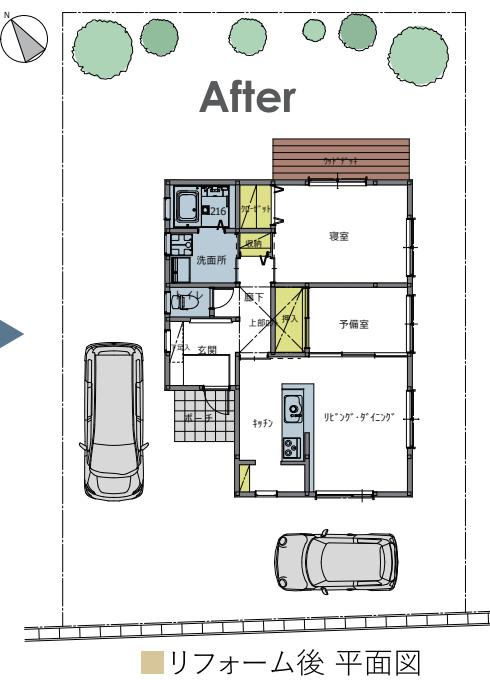
■廊下



■洗面脱衣室



■トイレ



応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
(有)幸福住建 福永知哉	幸福住建一級建築士事務所 福永知哉	有限会社幸福住建	60年	木造	一戸建て	2018年11月	143日間	680万円	指宿市	内外全体リフォーム+増築